

振興局だより だよ!

地域の情報誌

振興局だより「みくも」は、松阪市のホームページにてフルカラーでご覧いただくことができます!



三雲地区
マスコットキャラクター
「たけちゃん」

みくも

第30号



【2012. 6. 1発行】

「“ほっと”ギャラリー」6月展示作品のご案内

★「三雲地域に咲く野草と樹木の花」写真展

6月1日(金)～6月28日(木)まで 8時30分～17時15分

身近にみられる花の開花を通して、季節の移りかわりを知っていただこうと、三雲地域で一般的にみられる野生植物の春に咲く花の写真を展示します。

・特別展示「金環日食」

※ 都合により、展示内容などを変更する場合があります。ご了承ください。

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】

「幸せを実感できるまちの実現に向けて」 ～地域でできること～ シンポジウムを開催します

三雲地区地域審議会では、松阪市の将来像である「市民みんなで幸せを実感できるまち」の実現に向けて、平成23年9月に市長より諮問があった「地域でできること」について、広く意見を聴取し市長への答申へ反映していくことを目的に「シンポジウム(意見交換会)」を開催します。

当日は、三雲管内住民協議会代表の皆様と三雲地区地域審議会委員が意見交換を行います。ぜひこの機会にご参加ください。

とき 6月24日(日) 9時～12時30分(開場 8時30分～)

ところ ハートフルみくもスポーツ文化センター会議室

内容 ・意見交換会「地域でできること」

地域審議会の審議経過報告の後、管内住民協議会代表の皆様を中心に山中市長、小林副市長も交えて、意見交換を行います。

・パネルディスカッション「これからの住民協議会のあり方」

主催 三雲地区地域審議会・松阪市



※地域審議会とは、新市建設計画の変更、執行状況に関する事項、松阪市総合計画の執行状況に関する事項などについて、市長の諮問に応じて答申したり、意見を出したりする松阪市の付属機関で、平成17年1月1日の合併に伴い、合併前の各市町単位に平成27年3月31日までの期間において、設置されています。

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】

今年も節電に取り組みましょう！

6月は「環境月間」、6月5日は「環境の日」です。

これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたもので、世界各国でもこの日に環境保全の重要性を認識し、行動のきっかけとするため、さまざまな行事が行われています。

東日本大震災後、深刻な電力不足により、日本全国で節電意識が高まりました。

松阪市役所でも毎月1日をパワーセーブデーと設定し、職場や家庭も含めて節電を考える日としています。

電力需要がピークを迎える夏場に向けて、節電・省エネを推進するため、三雲振興局でもクールビズ運動、庁舎内照明の一部消灯、パソコン機器などの節電、緑のカーテンの設置など、今年もさまざまなことに取り組んでまいります。



これから夏を迎え、エアコンなどの電化製品を使う機会が増えてきます。

ご家庭でもエアコンの温度は28度を目安にする、打ち水やすだれ、緑のカーテンなどを利用する、部屋の電気はこまめに消すなど、できることから節電、省エネにご協力をお願いします。



【問い合わせ 三雲振興局 地域住民課 生活環境担当 電話56-7909】



なくそう！放置自転車！

4月13日（金）アピタ松阪三雲店玄関前にて『放置自転車追放キャンペーン』が行われました。

松阪警察署、松阪地区交通安全協会、三重県自転車軽自動車商業協同組合松阪支部、松阪市安全防災課、とまとーず、三雲振興局の職員が自転車の安全点検や反射材などの配布を行い、運転者のマナーの向上や自転車事故の防止を呼びかけました。

近年、通勤や通学、買い物などで数分から数時間置かれた自転車が「放置自転車※」として社会問題になっています。

自転車は環境に優しく手軽で便利な乗り物ですが、路上に放置されると歩行者の通行の妨げとなり、特に車イスを利用しているかたや目が不自由なかたには、わずかな時間でも大変危険なものとなります。また、交通事故の原因や、災害の際に避難、消火活動などの妨げにもなりかねません。一人ひとりがマナーを守り、自転車の放置をしないよう、ご協力をお願いします。



マナー向上をお願いしました

※ 放置自転車…駐輪場など許可された以外の場所に駐輪された自転車で、利用者が離れていて、直ちに移動できない状態の自転車

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7927】

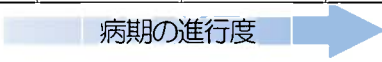
がん検診が早期発見・早期治療につながります

がん検診を受けて、がんが見つかったら怖いな・・・と思われるかたもみえると思います。しかし、下の表をご覧ください。胃がん・乳がんを例にすると、早期発見・早期治療で完治の確率が高まります。

〔表〕 胃がん・乳がんの臨床病期別5年相対生存率

(資料：(財)がん研究振興財団『がんの統計 '10』より)

ステージ※	I期	II期	III期	IV期
胃がん生存率	98.7%	72.7%	44.3%	7.0%
乳がん生存率	98.9%	93.3%	71.3%	31.4%



※ステージとは、病期と呼ばれるもので、がんの進行度を示し、数字が大きいほど進行したがんを表します。
 なお、がん検診の結果の見方とは別のものです。

また、今のところ何の症状もないから大丈夫・・・と試してみえるかたも多いと思います。早期のがんは自覚症状がほとんどありません。症状がなくても、早期発見・早期治療のために、定期的にかん検診を受けることが大切です。松阪市のがん検診が下記の日程で始まります。対象のかたには、受診券を6月下旬に郵送します。

受診方法	実施期間
医療機関で受ける 個別検診	平成24年7月1日～平成25年2月28日
指定の会場で受ける 集団検診	平成24年8月～平成25年3月

【問い合わせ ハートフルみくも保健福祉センター 電話56-7211】



なんじゃもんじゃの木、みつけられましたか？



白い花が咲きました

振興局だより「みくも」第29号【2012. 5. 1】でご紹介した「なんじゃもんじゃの木」。

皆さん、この木がどこにあるか、お分かりいただけただけでしょうか？

答えは『小野江小学校の南側空き地（松浦武四郎記念館北側）』でした。

今年は4月下旬～5月上旬にかけて、白い花が満開となり、私たちの目を楽しませてくれました。



幻想的な雰囲気になりました

また、5月5日（土）には地元有志のかたが満月の空の下、木を囲んでキャンドルを点灯し、多くのかたが幻想的な雰囲気を楽しんでいました。

地域の皆さんに大切に育てられている「なんじゃもんじゃの木」。





来年も見事な花を咲かせてくれることでしょう。

【問い合わせ 三雲振興局 地域振興課 電話56-7905】

6月に入り、梅雨や台風など雨の多い季節が近づいてきました。去年は夏から秋にかけて台風が襲来し、三雲管内でも強い雨が降りました。大雨の危険がある時には、テレビやラジオ、インターネットなどから最新の気象情報を入手し、早めに窓や雨戸などの家の外の点検もおきましょう。また、危険な場所には絶対近づかないようにし、市外などの遠隔地でも天気情報に注意してください。

警報が発表され、被害が予想されるような場合は、防災無線を通じて避難勧告や避難指示が発令される場合もあります。平成22年5月27日から注意報・警報が各市町ごとに発表されるよう細分化されました。注意報の発表でも、従来の基準では警報に該当するような場合もありますので、十分な警戒が必要です。

【雨の強さと降り方の目安】

1時間雨量 [mm/h]	予報用語	人の受ける イメージ	人への影響	屋外の様子	災害発生状況
10以上～ 20未満	やや強い 雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	地面一面に水たまりができる	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしていてもぬれる		側溝や下水・小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる 
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘は全く役に立たなくなる	道路が川のようになる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要 都市部では下水管から雨水があふれる
50以上～ 80未満	非常に 激しい雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある マンホールから水が噴出する 土石流が起こりやすい 多くの災害が発生する 
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる			雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要 

(注1) 「強い雨」や「激しい雨」以上の雨が降ると予想される時は、大雨注意報や大雨警報を発表して注意や警戒を呼びかけます。なお、注意報や警報の基準は地域によって異なります。

(注2) 猛烈な雨を観測した場合、「記録的短時間大雨情報」が発表されることがあります。なお、情報の基準は地域によって異なります。

(注3) 表はこの強さの雨が1時間降り続いたと仮定した場合の目安を示しています。

この表を使用される際は、以下の点にご注意ください。

1. 表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質などの違いによって被害の様子は異なることがあります。

この表ではある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

2. この表は主に近年発生した被害の事例から作成したものです。今後新しい事例が得られたり、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。